コミケビギナーのための　超・速・解　アドバイス

コミナビ Comi-Navi

ついに、ついに来てしまいましたGW開催コミケット。あらゆる状況が今回限りの未知の領域過ぎますが、ここは参加者全員がコミケットに初めて参加するつもりでもう一度最新情報を集めなおし、ルールも読み直して持ち物揃えて、まっ更な気持ちで飛び込んでみては？
歴史的『はじめてのコミケット』を楽しみましょう！

■■寒さと暑さと雨と陽射しと■■

ほぼ全参加者が未体験なGWという季節に開催される今回のコミケット。これまでもGWに他の同人誌即売会系イベントは開催されているわけで、それらに参加したことがある方ならばおおよそ環境の想像がつくかもしれない。しかし特に地方から参加する方からしたら、暑いのか寒いのかという根本的な対策からしてよく分からない、というのが実情ではないだろうか。

季節的には暑すぎも寒すぎもしない絶好のシーズンではあるが、それ故にいったん天候が崩れると装備的な対応がやや難しい面もある。

ただでさえ丸一日外出しきりになるコミケットなので、真夏や真冬でないからと甘く見ず、様々な天候変動も頭に入れて参加する際の服装や装備を整えよう。

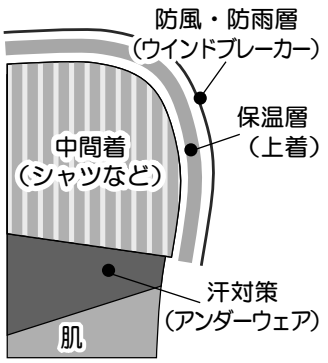
■そもそも暑いのか寒いのか■

GW時期は、統計的には晴れることが多く、その場合は日中多少汗ばむくらいの気温になり、また、1日を通して気温差のあまりない極めて快適な気候となることが多い。そういった気候であれば、例え多少待機時間が長くてもこれまでの夏コミ・冬コミのような重点的な環境対策を施さなくても何も問題なく参加することができるだろう。むしろその快適さ、楽さに驚くくらい、文字どおりの行楽日和なコミケットが体験できる記念すべき回となる可能性は高い。

しかし、この時期は天候が急変しやすい時期でもある。４日間の会期中同じような天候や気温が続く保証はないのだ。ときには１日の中でも急激に気温が上がったり下がったりすることもあるので、基本的には快適なシーズンではあっても、コミケットという長丁場の１日を考えればやはり温度対策、突然の雨対策は講じておきたい。

●暑かったら？寒かったら？

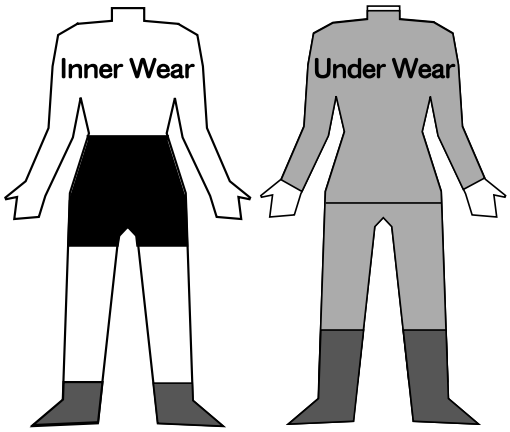
気温の上下に対応するためには、重ね着をしてそれをその都度脱いだり着たりするのが一般的な方法だが、この方法には、**脱いだ物が荷物になる・着替えるための場所や時間を必要とする**、という２つのデメリットがあるのでできる限り、脱ぎ着をしないでも快適に過ごせるか、脱ぎ着するものが少ない方が望ましい。気温変動が大きかった場合には1日のうちでも温度差が10℃を超える場合もあるし、待機を始める早朝と日中では大きな気温差があることが多いので、長時間の待機を予定している参加者は特に注意が必要だ。



そしてその温度差に大きな影響を与えるのが、風である。この時期は気温自体は高いのに風が冷たく、肌寒いという天候の日も少なくない。薄着でいたり、冬同様に首元などの開口部が大きな服だと微風でも体温を奪われやすいために、実際の気温以上に体感気温が低く感じられることがある。

そういった観点から、この時期の防寒に大切なのは**保温性能以上に、防風性能**なのだ。 薄手でコンパクトに収納できるヤッケやウインドブレーカー、薄手のひざ掛け１枚でも用意しておくと心強いだろう。

●アンダーウェアという安心



何を着ていけばいいのかが悩ましいこの時期だが、暑さ寒さに対抗する最も基本となるのがアンダーウェアだ。『下着なんて当然誰でも着てるよ』と言うなかれ、この場合の『アンダーウェア』は下着ではなく、いわゆる肌着のことだ。

普段下着の上に直接Ｔシャツやキャミソールなどの中間着を着、ズボンやスカートを履くという人が多く、手首足首近くまで身体全体を覆うアンダーウェアを着る習慣は無い、あるいは真冬のみ防寒のために着るだけという人が多いだろう。

しかし、こういった気候気温が暑いか寒いかに明確に分かれていない時期ほど、アンダーウェアは体温調整にもってこいなのだ。最近のこの手のものは大抵吸水性と速乾性があり、ついでに抗菌防臭加工なども施された優れた機能性ウェアなので、多少汗ばんでも汗冷えせず、一定の保温性があるので上に着る服を薄くできる。また、乾きが早いので万一突然の雨などで衣服が濡れてしまっても、下に化繊のアンダーを着ていれば寒さや不快感を大きく低減できると、たった１枚で何役もの効果があるのだ。

ただし、完全に日中の最も気温の高い時間帯しか活動しない前提ならば全身を覆うアンダーウェアはやや暑いかもしれない。自分の活動時間や待機時間を考えて袖や裾の短いものを着るなど微調整しよう。

●快適な服装を考えよう

アンダーウェアで基礎を押さえたらその上に着るものも最適化したい。主に安定した気温が期待できるのであれば、それほど難しく考える必要はないだろう。衣服自体は薄めにして上着やストールなどの羽織れるものを用意しておくのがベストだ。

また、陽射しが強くなることもあるので帽子や大判のタオルやスカーフといったものもほしい。

帽子も、防寒防暑、少しの雨への対策も兼ねる万能アイテムだ。ぜひ持っていきたい。

●気象情報をチェックしよう

暑いのか寒いのか、雨の可能性があるのか、同じGWの連休中であっても、日ごとに天候や気温が大きく変動するこの時期、自分が参加する日の気象状況をチェックするのは全参加者必須といえる。

幸い、今やネットを通じてスマホから随時最新かつその場所に応じたきめ細かい気象情報が簡単に得られる。

コミケット期間のみに限らず、普段から日々の気象情報をチェックする習慣をつけておき、それらの情報と実際の天候がどうリンクしているのかを把握できるようになっておけば、予測されるコミケット当日の天候や気温の変動に合わせて着衣や装備を最適化することができるようになるだろう。そして、時にそれらの予測を全く覆すような急激な天候変化もあり得るのだということは頭に置き、例え全日快晴の予報が出ていても、急な雨や冷え込みに対する用意を最小限でも必ず持って行くようにしたい。

●日本全国の天気：気象庁ウェザーガイド：https://www.jma.go.jp/jp/yoho/

毎日午前５時、11時、午後５時に更新される。過去のデータを参照できるので天候の傾向を参考にしやすい。

●降雨情報：日本気象協会/アメダス：https://tenki.jp/amedas/

今現在どこにどのくらいの雨が降っているか、それがどう移動するかをリアルタイムで調べられるので、会場で天候が変わってきたら早めにチェックしよう。天気予報も見られる。

●意外と大切雨対策

GW時期の東京は基本的に、朝から雨（あるいは今にも降り出しそうな曇り）でなければ、概ね日中は安定した天候で、降り出すのは夕方以降という傾向にある。また雨の場合は、朝からほとんど気温が上がらない１日中ぐずついた天気になるか、午前中パラパラと降って午後から一気に回復して気温が上がるかのどちらかのパターンとなることが多い。ざっとこういった傾向を知っておくだけでも、着衣や装備の最適化がしやすくなるだろう。

ごくまれに、気圧の谷などの影響で、午前中は暑いくらいの快晴だったのに午後から急変して気温が急降下し、強い風や雨に見舞われることもあるが、もしコミケット会期中にこの天候になったら、それはもう不運と呼ぶしかない。

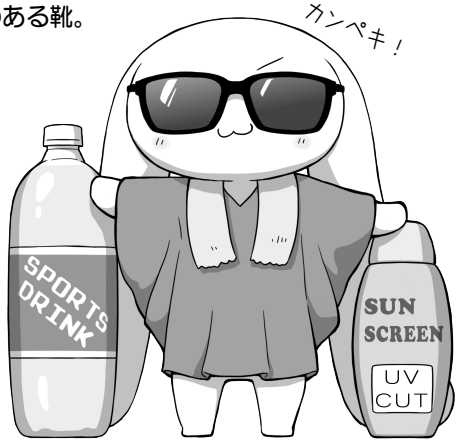
しかし、コミケット参加者たるもの、例えどんな時でも自分の身と、それ以上に戦利品は守らねばならないので、例え五月晴れの快晴であっても油断せずに最低限の雨対策はして行こう。

・朝から快晴、天気予報でも降雨可能性ほぼゼロ：撥水性能のある上着を着るか、ポンチョをバッグに。むしろ日焼け止めや日射し対策を用意。

・曇り、天気予報ではビミョーな感じ　：折り畳み傘とポンチョをバッグに。ボトムを乾きやすいものに。

・小雨、予報では１日降ったり止んだり：折り畳み傘、ポンチョ、撥水性能のある上着と乾きやすいボトム、タオル。

・朝から雨で日中いっぱい降り続きそう：折り畳み傘、ポンチョまたはしっかりした防水性能のある上着、あるいは（100円ショップのではない）レインコート、タオル複数枚、防水性能のある靴。



例え朝から雨であっても、会場周辺や待機列で参加者が密集している場所では傘の使用は避けたい。駅に着いてから待機列に向かうまでの間に雨具を着けなければならないので、荷物の上から一気に羽織れるポンチョがベストだ。

また、会場内に濡れたままの長い傘を持ち込むのは周囲の迷惑であり、危険物にもなりえるので、**コミケット会場に持って行く傘は会場内ではバッグにしまえる折り畳み傘が望ましい。**

また、雨に濡れてしまった場合、この時期は夏ほどの気温はなく、冬ほど着込んでもいないために非常に寒い思いをすることになる。**雨模様の時にはくれぐれも着替えを忘れず、ボトム、靴、靴下などは濡れても乾きやすいものを**

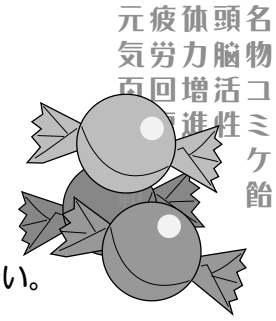
●GWコミケットでも的確エネルギー補給！

暑すぎも寒すぎもしない時期なので、飲食にもそれほど神経質にならなくてもよいとは言え、長時間にわたって活動するためにはきちんとしたエネルギー補給が必須なことに変わりはない。むしろ夏冬のような必死さがない分、閉会前後くらいの集中力が途切れた時間に突然ガクンと身体に力が入らなくなり、気づけば長時間にわたって全く飲んだり食べたりしてなかった！ということさえありえる。

さらに日中は時に真夏日と呼ばれる高気温となることもあるので、待機列に並ぶ際は（予想待機時間の長短に関わらず）必ず飲物は用意し、菓子パンやエネルギーバー、ゼリー飲料などの簡単に食べられる行動食も少しでもいいので携行しておこう。

適度な休憩と水分、エネルギー補給は、例えコミケットの開催季節がいつであろうとも必要不可欠なのだ。

ただし、多少の真夏日でも夏コミの場合ほど塩分補給の必要はない。



■『モジュール化版』持物リスト《GW》■

バックパック

全員必携

- □ **飲物と行動食**
  飲物500ml１本／栄養バー類２本ほど
- □ **フェイスタオル1枚**
- □ **救急用品**
  絆創膏／常備薬／カゼ薬・胃腸薬・鎮痛剤／お薬手帳やメディカルカード
- □ **携帯用などの予備バッテリー1**
- □ **帽子（つばのあるもの）**
- □ **布バッグ等の折りたためるサブバッグ**
- □ **コンビニ袋等ビニール袋大小数枚**
- □ **ポケットティッシュ数個**

■待機用品

1時間以上待機する可能性があれば

- □ **ノンカフェイン常温の飲み物500ml１本以上**
- □ **折り畳みイス／携帯座布団／敷物類**
- □ **暇潰し用本／携帯ゲーム機など**
- □ **１食分の軽食（基本行動食に追加する）**
  菓子パンや栄養バー／ゼリー飲料／羊羹やナッツ類など。チョコレートは溶けないものを
- □ **予備バッテリー２**

待機する場合はバッテリーは多めに持っていこう。

■雨対策装備

できるだけ傘以外の対雨装備を！

- □ **折りたたみ傘**
- □ **ポンチョ／レインウェア**
- □ **Tシャツ／肌着＆下着／靴下の着替え**

■女性用装備

- □ **メイク用品**
- □ **生理用品・鎮痛剤**
- □ **拭くメイク落とし**

メイクは汗で崩れやすい。メイクし直すか、諦めるか。往復のルート、予定も込みで考えよう！

サブバッグ

全員必携

- □ **サイフ①**：購入資金のみ
- □ **サイフ②**：交通費・予備費・交通カードなど普段使っている財布
- □ **携帯電話・スマートフォン**
- □ **免許証、学生証、健康保険証などの証書類**

購入品バッグ

- □ **配置図／Webカタログに接続可能か、カタROMをインストールした携帯端末**
- □ **筆記用具**
- □ **大判ゴミ袋数枚**（雨対策・時に防寒具）

■基本暑さ寒さ・日射し対策装備

- □ **薄手の大判タオル／日除けストール**
- □ **薄手のウインドブレーカーやパーカー**
- □ **汗拭きシート類１パック**
- □ **カイロ１つ**
- □ **日焼け止め・サングラス**

■感染症予防対策

- □ **手指クリーナージェル**
- □ **除菌ウェットティッシュ**
- □ **マスク数枚**

手指を清潔に保つのは感染症予防の鉄則。可能なら手洗いを！

■オプション

- □ **A４／B5プラケース（購入物保護用）**
- □ **ポスター用紙筒**
- □ **スケッチブックや色紙**
- □ **サークルへのプレゼントなど**

生ものは避ける。自分の連絡先を記した手紙などを付ける。

サークル参加者必携品

- □ **参加登録カード／サークル通行証（1人1枚）**
- □ **見本誌票シール（申込書セットに付属）**
- □ **新刊／在庫／頒布物各種**
- □ **釣銭／売上・釣銭入れの袋や箱**
- □ **値札／卓上ポップ（看板）**
- □ **テーブルクロス（難燃性のもの）**
- □ **筆記用具／売上記録用ノート**
- □ **細マジック・カッターナイフやハサミ**
- □ **ガムテープ**
- □ **ゴミ袋**
- □ **スペース内で食べるおやつ・軽食・飲物**

コスプレ参加者必携品

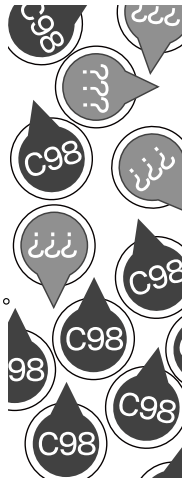
- □ **完成したコスチューム／ウィッグなど**
- □ **小道具類（運搬時の破損と周囲の安全注意）**
- □ **着替え入れサブバッグと荷物の開封防止用の鍵**
- □ **メイク道具／ハンディミラー**
- □ **コス着用時に小間物を入れるポシェットやミニバッグ**
- □ **（あれば）コスプレイヤー名刺**
- □ **日焼け止め**
- □ **ソーイングキット／補修道具／両面テープ**
- □ **小銭入れ**
- □ **荷物固定用ワイヤー錠など**

※これらの装備は全て持って行く必要はない。自分の参加スタイルに合わせて取捨選択すること。

■■世界よ、これがコミケットだ■■

GWというこれまでにない時期に開催される今回のコミケットは、結果的に様々な面で特殊な状況下で行われることとなる。それはコミケット内部のシステム変更に留まらず、コミケットとそれを取り巻く周辺環境そのものがこれまでになく大きく変動するということでもある。参加システムやルールの変更に注意し対応していかねばならないのはもちろんだが、アナタの行動１つ１つが、これまでコミケットやその参加者に直接触れたことがなかった人たちに、コミケット全体の印象として記憶される可能性を忘れてはいけない。俺が、アナタが、コミケットだ！

■世間もいつもと違います■



会場確保の都合としても、これまでのコミケットは概ねお盆と年末という、都内全体として企業活動やイベントが少ない時期に開催されてきた。しかし今回はGWという、普段なら連日様々なイベントが開催され、全国的に観光客がどっと移動するある意味最も騒がしい時期に開催されることになる。しかもオリンピック・パラリンピックという最大規模のイベントを目前に控え、それに関連する規制や予定の変更なども加わり、今回のGW周辺の社会活動や人の流れは全く前例の無いものとなる。

コミケット参加者と、その他の行事や目的のために移動する人々があらゆる場所で交わることになる可能性が大いにあり、その際に接する人々がコミケットとその参加者をよく知らないということもまたあり得るので**普段以上に振る舞いには注意したい**。

公共の場で座り込んで戦利品を整理したり、集まって他者の通行を妨げたまま声高に話したりしない、また、大きな荷物やキャリーバッグ・カート類を取り回す際には十分に周囲に注意し声掛けする、子供や、乳幼児を連れた親や妊婦などに積極的に席や場所を譲る、（自分基準ではなく）露出度の高いイラスト紙袋類を持ち歩かないなどといった、心遣いや周辺への注意を会場外でも十分に発揮してほしい。

●アナタとコミケットを守るためにできること

大分以前から人が密集する場や機会では、複数種類の病気が集団を通して感染を拡げる可能性が指摘されている。体調不良をおして無理矢理参加して自分が感染源となるのはもちろん、会場で他人が持ち込んだウイルスに感染してしまう危険性も高い。今や、イベントに参加する際には普段以上に公衆衛生に注意し、『体調不良なら参加せず』を徹底することは新常識と言っていい。

●コミケットの２週間ほど前から、自分と周囲の人たちの体調をよく観察しておこう。当日朝だけ様子を見ても、咳や微熱が続くといった症状は分かりづらいからだ。咳・発熱・腹痛・下痢・倦怠感・関節の痛みといった何らかの体調異常がアナタ自身はもちろん、家族など周囲身近な範囲に見られた時には、**例えサークル参加者であっても参加してはいけない**。コミケットではなく病院へ行くべきだろう。

●手指の清潔は全ての防疫の基本中の基本だ。会場内でも飲食の前はもちろん、トイレの際などには積極的に『石鹸で30秒以上』手を洗うか、こまめに除菌ジェル/スプレー/ウェットティッシュなどを使って手指をよく消毒しよう。また、インフルエンザ流行期を過ぎてもマスクは咳エチケットや、不用意に洗っていない手で口元に触れてしまうのを防ぐといったサポート的な効用が大きい。数枚用意し、会期中にも適宜取り替える（使用済みマスクは口に触れていた側を内側に折り畳み、耳ゴムを巻きつけて開かないようにして廃棄する）ほか、周囲に咳やくしゃみをしている参加者がいたら分けてあげるなど活用したい。

●感染症に限らず、丸１日外出してのイベントである以上、会場内や道中で重篤な体調不良や事故、怪我を負う可能性は常に存在する。そういった非常時に必要となるので、『健康保険証』、普段使っている『お薬手帳』、家族などの緊急連絡先やアレルギーの有無、病歴や手術歴、血液型、かかりつけ医などの情報を記載した『メディカルカード』をまとめて**緊急時情報**として携行しよう。もし同行者がいるなら、互いに自分の緊急時情報を入れてある位置を教えあっておけばより安心だ。

■参加する意思・準備する身体■

開催館数が大きく削減されて２会場分割開催という形となり、リストバンド制が導入されてなお、ここ２回のコミケットでは参加者人数が減少することはなかった。それは参加者がコミケットを信頼している証明とも言えるし、同時に、コミケットが開催されたらとりあえず参加する、という参加者が非常に多いということの証明でもあった。

しかし、このC98はどうだろう？　前回までのような従来の枠組みの中での変更ではない、日程からして全く違うし、色々な不確定要素や不安要素も多い。かつてないほどにデリケートなバランスの上に成立しているのが今回のコミケットの特徴だ。したがって参加者にとっても、今までのように流れでは参加できないコミケットだと言える。C98については、参加することと参加を見送ることはほぼ等価で、敢えてこの珍しいコミケットに参加してみるも良し、無理に参加しないことを選択して参加者減による現場負担の低減を狙いつつ、次冬に控える史上最大のコミケットC98に主眼を置くのも立派な戦略だろう。

そして参加するなら、今回ばかりは本当の意味で、正しい知識と準備と、そして家を出てから帰宅後まで、ここまでの記事で挙げてきたような様々に注意すべき事を全てクリアしていくことが要求されることを理解してほしい。なぜそれが必要なのか、よく分からないならば、まずはコミケットに向けて日々社会の情報を収集することから始めよう。毎日のように変動していく状況を正しく把握していれば、参加不参加の判断を含めて、どういった対策が必要なのか理解できてくるはずだ。今回の参加者には正しい情報と、必要な準備や対策を実行しきるだけの自分自身とコミケットに対する誠実さが必要不可欠なのだ。

CAUTION

本記事の内容は全てコミケット準備会のチェック及び承認の上掲載されているものですが、紹介しているアイテム類や行為はコミケット当日の天候や状況によって使用できなくなるものや、禁止となる場合も発生しえます。最終的には現場のスタッフの判断に従ってください。
『臨機応変』もコミケット参加者に求められる大切な認識です。

本コーナーに掲載している健康面についての情報は専門医学的考証に基づいたものではありません。また、取りあげられている各種事例や方法については個人差があり、必ずしも期待される効果をもたらさない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

本コーナーではコミケットビギナーの為に、参加に際して有用と思われる情報や知っておいて欲しいことを繰り返し、様々な切り口から論じています。過去の記事も併せて読むことで得られる情報の密度が向上しますので、是非下記サイトからご活用下さい。

●Website: http://www.comi-navi.com/

●twitter: @Comi_Navi

開催が近づくと、コミケットにより快適に参加するための最新情報を逐次ツイートしていきます。
Webサイトでは過去のカタログに掲載されたこの記事や、コミケットQ&Aなどを掲載しています。ともに参加前にぜひご一読を！

◆コミケットサポートマガジン『コミケPlus』もよろしく！
コミケPlus誌の製作に全面協力しています。継続のため是非ご購入下さい！

◆コミケット会場でも参加者をサポート！
南３ホール入口そばの物販ブースに参加者サポートShop出展。
会場内で何か困った時にはお立寄り下さい。

Staff ■Writing:槙村 祉(FORTUNE)　■Illustration:桜部のとす(PalePink!)
■Web:大木 真希夫　■Cooperation:蒼破